

登録コード	T4000110	開講年度	2026				
授業科目	機械システム工学ゼミナール				担当教員	松原 雅春 他	
英文授業名	Seminar on Mechanical Systems Engineering				副担当	吉田 尚史	
単位数	2	講義期間	前期(前半)	曜日・時限	水曜・4時限 水曜・5時限	対象学生	機械システム工学科2年生
講義室	共通教育 6 1 講義室	共通教育 6 2 講義室	授業形態	演習	遠隔授業科目	備考	
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	【授業で得られる「学位授与の方針」要素】				【授業の達成目標】		
	2 5 Tカリ, 2 3 Tカリ						
	【22T～】共通教育による幅広い教養と、工学の専門分野における基礎学力が身についている。				機械システム工学を専攻するための基本的な学び方や基礎を身につけることができるようになる。		
	【22T～】専門的学力を基礎とし、的確な情報を収集・理解し、これを他の人に発信できる能力が身についている。				機械システム工学を専攻するための情報の収集と利用する能力、及び人と議論してまとめ発表できる能力を身につけることができるようになる。		
	【22T～】様々な課題を見つけ取り組む力が身についている。				機械システム工学を専攻するためのモチベーションと関連する課題を発見して適切に取り扱う能力を身につけることができるようになる。		
(2)授業で学べる「テーマ」	その他						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	大学の学習や生活に必要な基本的な情報を各種ガイダンスで学ぶ。 次に、グループワークとして、簡単な道具を使って身近な材料からものづくりを行う。強度を考慮し機構を工夫しながら、自由なアイデアのもと、グループで相談しながら機械をつくる。基本的な知識を自ら学習しながら、試行錯誤を繰り返すことで、ものをつくる楽しさや難しさを体験する。						
(5)授業計画	第 1回(4/15)：ゼミナールのガイダンス、情報セキュリティガイダンス 第 2回(4/15)：グループワーク課題 1 「一定の強度を要する長さ60cmの橋梁の製作」 第 3回(4/22)：こころの健康・大学生活のリスク対策 第 4回(4/22)：グループワーク課題 1 第 5回(4/30)：全学横断特別教育プログラムの紹介、グローバルガイダンス 第 6回(5/01)：グループワーク課題 1 第 7回(5/13)：グループワーク課題 2 「一定の強度を要する長さ1mの橋梁の製作」 第 8回(5/13)：一定の強度を要する構造物の製作 第 9回(5/20)：グループワーク課題 2 第10回(5/20)：グループワーク課題 2 第11回(5/27)：グループワーク課題 3 「モーターを使った空力で推進力を得る移動機械の製作」 第12回(5/27)：グループワーク課題 3 第13回(6/03)：グループワーク課題 3 第14回(6/03)：グループワーク課題 3 第15回(6/10)：グループワーク課題 3 第16回(6/10)：グループワーク課題 3 授業アンケートへの回答						
(6)成績評価の方法	製作物の性能をもとに評価し、発案における貢献度、製作作業への取り組み、議論に対する積極性など、主体性・積極性を加味する。						
(7)成績評価の基準	「合格水準にある」：指定された条件を満たす製作物を作ることができる。 「やや上にある」：上記を満たした上で、製作物にそれ以上の長所がある。 「かなり上にある」：上記2点を満たした上で、製作物が独創的である。 「卓越している」：製作物が特に優れていると教員が認める。						
(8)事前事後学習の内容	製作物を完成させ、優れたものにするためには授業の時間だけでは不十分である。 授業以外にもグループで集まる時間を確保し、また分担して個々に作業するなどして、全員が自信を持って発表できるだけの成果物を完成させること。						
(9)履修上の注意	グループワークを通じたアクティブラーニング（能動的学習）を実践している。自分自身で考え、全員が議論に参加し、グループの仲間に配慮し合いながら積極的に参加しなければならない。						
(10)質問,相談への対応	質問、相談は授業開始前、終了後の時間に受けつける。						
(11)その他	ガイダンスとグループワーク ・ガイダンスではノートパソコンを持参のこと。 ・グループワークではハサミおよびカッターを持参のこと。						
【教科書】	指定しない						
【参考書】	指定しない						